



防犯

学生を中心
に、地域全体
で防犯に取
り組む体制
づくり

1. 地域協議会と「防犯」

「犯罪のない安全で安心な暮らし」というのは、地域に住まう誰もが望むものであり、生活に身近な地域課題である「防犯」は、「防災」に次ぎ、各地域協議会が積極的に取り組んでいるテーマです。

各区の自主防災パトロール隊などと協力した効率的・効果的なパトロール活動の検討や実践、市の防犯カメラの設置場所などに関する提言、青色回転灯パトロール隊の結成、安全マップや啓発のぼり旗の作成など、多種多様な事業が実施されてきました。

今後も地域住民の「安全で安心な暮らし」を守っていくため、地域協議会活動の中心的事業として取り組み続けられることが期待されます。



▲学区一斉防犯パトロール



▲青色回転灯パトロール隊



▲安全マップの作成

2. 地域協議会に期待する役割

(1) 気軽に取り組める防犯活動の普及

買い物や犬の散歩など、日常生活の中に少しでも「防犯の意識」を取り入れる「ながらパトロール」や子どもたちの登下校の時間帯（午前8時および午後3時頃）に合わせ、買い物や散歩、庭いじり等で意識的に屋外に出る「83運動」は時間的・精神的な負担なく、一般の地域住民の方たちにも取り組みやすい活動です。

多くの地域住民が地域を見守る“目”を持つことで、犯罪を未然に防ぐ効果が期待できます。

■ 事業の例

ながらパトロール/
83運動
【篠岡、光ヶ丘】



(2) 小中学生と共に行う防犯活動

地域の小中学生に防犯パトロール活動を体験してもらうことは、小中学生自身の防犯意識の向上のみならず、犯罪の起きやすい場所を見つけることで事前に危険を回避する能力を身に付け、日頃からパトロール活動をして下さっている方々に対する感謝の気持ちを育み、さらには将来的な担い手として活動する意欲を育てることに繋がります。

小中学生ボランティアのモチベーションを維持するための工夫や短い時間で効果的なパトロールをするための方策などを地域協議会の場で検討していくことでパトロール活動そのものの継続性も高められます。

■ 事業の例

小中学生と共に行う
パトロール活動体験



小中学生と共に行う
地域の安全マップづくり
(ICTの活用)



with コロナでは...

「ながらパトロール」や「83運動」は日常生活の延長線上で取り組める活動であり、基本的には1人(または少人数)で行うことが想定されることから、日常の感染対策をそのまま当てはめて実施することが可能です。

他の防犯活動については、パトロール区域を見直し(細分化)するなど、大人数での活動を避け、人と人の距離に配慮することで、安全に活動することができます

3. 関係団体

(1) 行政機関

防犯や交通安全に関すること	市民安全課 交通防犯係 (76-1137) 小牧警察署 (72-0110)
通学路や児童の安全に関すること	教育総務課 庶務係 (76-1164) 学校教育課 学校教育係 (76-1165)

(2) 類似/先進事例団体

中学生と協力したパトロール活動	春日寺区防犯パトロール隊
車両による青色回転灯パトロール隊	ふらっとみなみ 環境・防犯パトロール隊 篠岡学区地域協議会 青色回転灯パトロール隊

その他、地域活動団体やボランティア団体の紹介・コーディネート等については、以下にお問い合わせいただくか、右記QRコードから検索いただけます。

【こまき市民交流テラス ワクティブこまき】

- ・住所 小牧3丁目555 ラピオビル2F
- ・電話 0568-48-6555
- ・URL <https://komakici.jp/>

【社会福祉協議会 ボランティアセンター】

- ・住所 小牧5丁目407 ふれあいセンター1F
- ・電話 0568-77-0636
- ・URL <https://komakivc.jimdofree.com/>



▲ワクティブこまきホームページ内「こまき団体情報ガイドブック」



▲ボランティアセンター